省スペースリモートI／O変換器 ***R8*** シリーズ

取扱説明書

非絶縁４点
直流電流入力カード

形 式
R8Y−SSZH4N

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・直流電流入力カード .....1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内の DIN レールに設置して下さい。
・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策（例：電源、入出力にノイズフィルタ、クランプフィルタの設置など）は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。
・本体側面のディップスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

●設置について

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -10 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

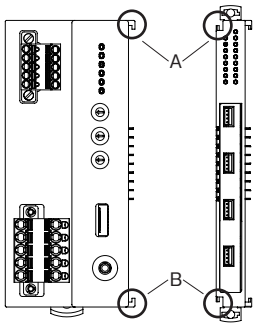
・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

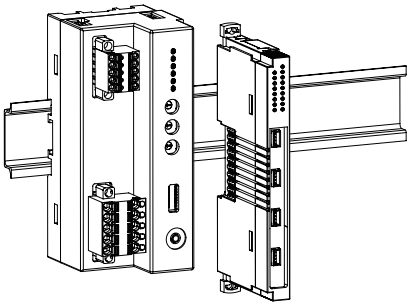
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

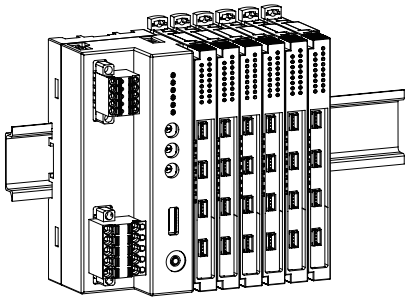
●入出力カード



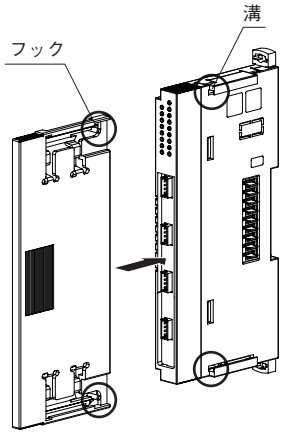
・入出力カードのスライダが閉じていることを確認し、
各カード（ユニット）の凹凸（図のA、B）を合わすように、
DINレールに対して垂直にまっすぐ差込みます。



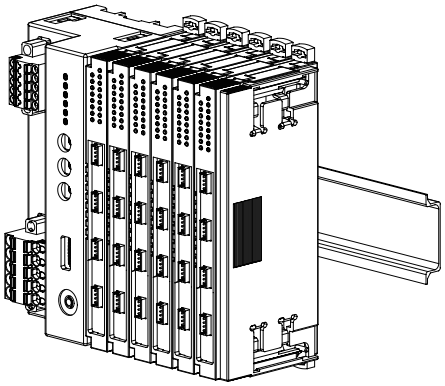
・入出力カードを追加する場合も同じようにして下さい。



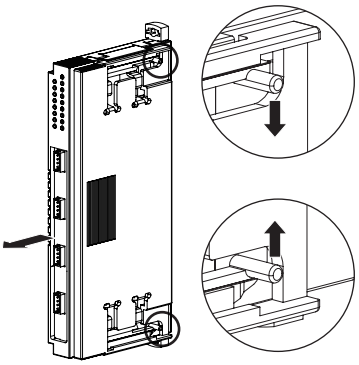
●エンドカバー



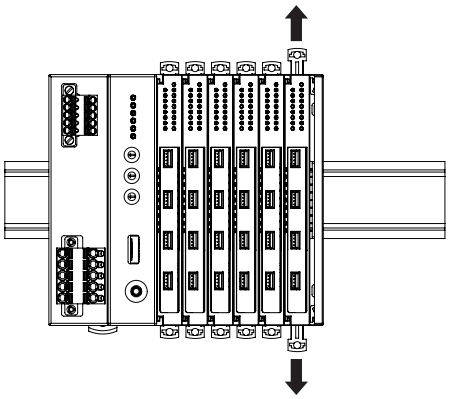
・接続した一番右端の入出力カードに、エンドカバーを装着します。
・カバー側のフックと入出力カード側の溝を合わせ、止まる位置まで
まっすぐ挿入します。

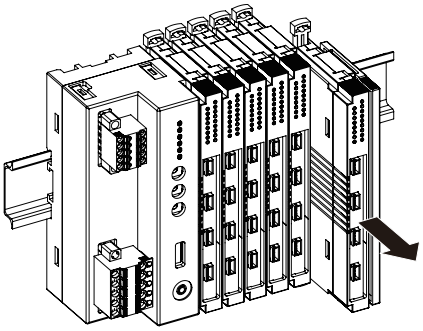


・取外す場合は、カバー側フックを内側に押しながら引抜きます。

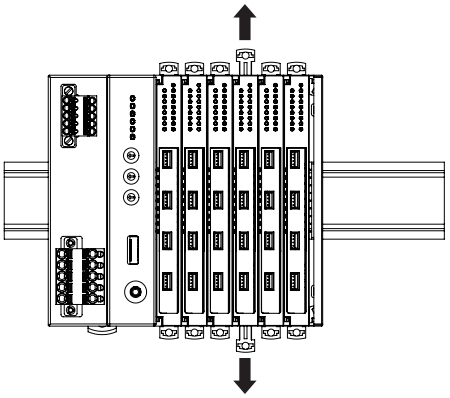


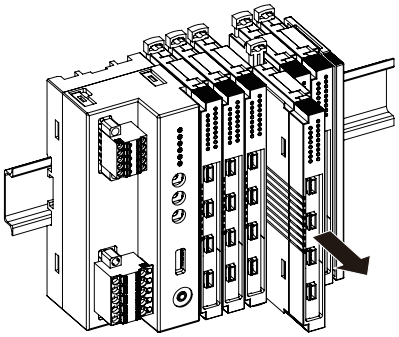
■取外方法
・取外したい入出力カードのスライダを外側へずらし、ロックを外した
状態で手前にまっすぐ引抜きます。





・中間の入出力カードを取外す場合

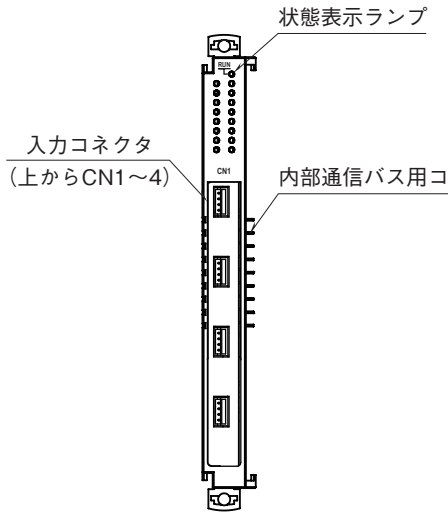




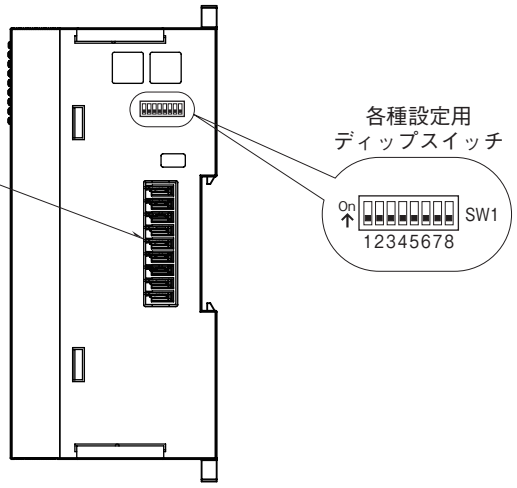
注1）内部通信バス用コネクタは先端がとがっているので、怪我をしな
いように注意して下さい。
注2）入出力カードのみの設置時は、入出力カードが横に動きやすい
状態になります。落下等の恐れがある場合、エンドプレートを
設置するようにして下さい。

各部の名称

■前面図



■側面図



■表示ランプ

名　称	ランプ動作	機器動作
状態表示ランプ	消灯	停止中
	緑色点灯	上位との通信が有効
	赤色点灯	設定エラー

■入力コネクタ端子配列

・ZH コネクタ

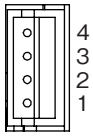
本体側コネクタ：S4B-ZR（日本圧着端子製造製）

推奨ソケット：ZHR-4（日本圧着端子製造製）

推奨コンタクト：SZH-002T-P0.5（日本圧着端子製造製）

適 合 電 線：AWG28 ～ 26

（ソケットおよびコンタクトは本器に付属しません。詳細はメーカカタログをご参照下さい）



ピン番号	信号名	機　能
4	＋	入力(＋)
3	－	入力(－)
2	NC	未使用
1	NC	未使用

■カードアドレス設定

カードアドレスは 10 の桁を SW1-1、2 で、1 の桁を SW1-3、4、5、6 で設定します。カードアドレスは 0 ～ 30 まで使用可能です。（工場出荷時は 0）

カードアドレス	SW1				
	× 10			1	2
	× 1	3	4	5	6
0		OFF	OFF	OFF	OFF
1		OFF	OFF	OFF	ON
2		OFF	OFF	ON	OFF
3		OFF	OFF	ON	ON
4		OFF	ON	OFF	OFF
5		OFF	ON	OFF	ON
6		OFF	ON	ON	OFF
7		OFF	ON	ON	ON
8		ON	OFF	OFF	OFF
9		ON	OFF	OFF	ON

■動作モード設定

（＊）は工場出荷時の設定

●終端抵抗設定

終端抵抗	SW1-8
無効(＊)	OFF
有効	ON

注）SW1-7 は未使用のため必ず“OFF”にして下さい。

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。
コンフィギュレータソフトウェア（形式：R8CFG）の使用方法については、R8CFG の取扱説明書をご覧下さい。

■チャネル個別設定

項　目	設定範囲	初期値
入力レンジ	-20～+20 mA DC	-20～+20 mA DC
ゼロ入力値	-20.00～+20.00（mA）	4.00（mA）
スパン入力値	-20.00～+20.00（mA）	20.00（mA）
ゼロ微調整	-320.00～+320.00（%）	0.00（%）
ゲイン微調整	-3.2000～+3.2000	1.0000
ゼロスケーリング値	-32000～+32000	0
フルスケーリング値	-32000～+32000	10000

■チャネル一括設定

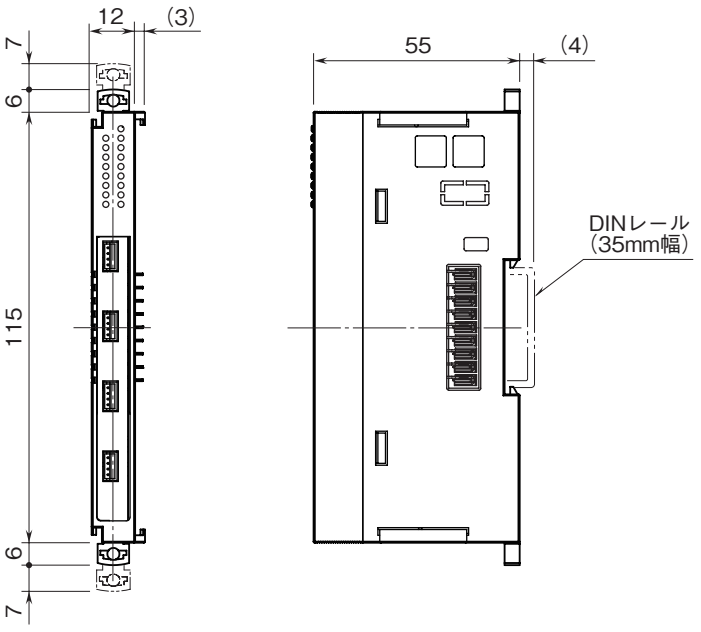
項　目	設定範囲	初期値
内部通信バス通信断検出時間	0.0～99.9（sec）	1.0（sec）

注）コンフィギュレータ設定は、電源通信ユニットより行います。

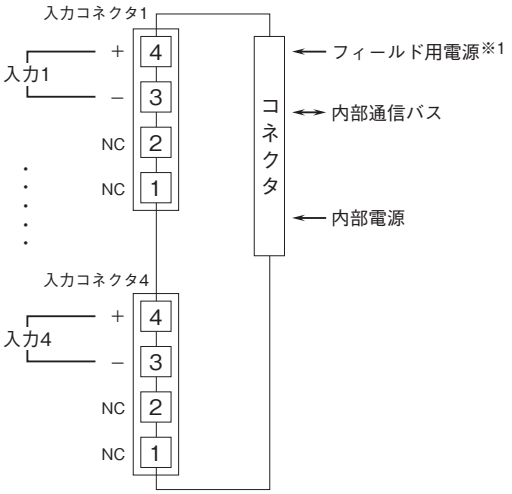
接　続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



端子接続図



※1、フィールド用電源は使用しません。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。